



2022年10月31日

各位

上場会社名 日本食品化工株式会社
 代表者 代表取締役社長 荒川 健
 (コード番号 2892)
 問合せ先責任者 経理部経理課長 中村 圭吾
 (TEL 0545-52-3181)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年4月28日に公表した2023年3月期の通期業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,500	1,000	1,200	900	182.98
今回修正予想(B)	63,000	3,000	3,200	2,500	508.27
増減額(B-A)	4,500	2,000	2,000	1,600	
増減率(%)	7.7	200.0	166.7	177.8	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	50,610	1,504	1,859	1,370	278.55

修正の理由

当第2四半期累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の業績の状況等を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の予想を上記の通り修正いたします。
 3年振りに行動制限のない夏となり、夏場も高温が続いたことで飲料向け糖化製品の販売が好調だったこともあり、通期見通しの販売数量は予想を大幅に上回る見込みです。売上高は、穀物価格上昇を受け、副産物価格が上昇していること、また、糖化製品の販売数量増加に加え、原料とうもろこし相場や為替相場の影響を受けた製品価格の適正化を推進していくことから、増収となる見込みです。これに伴い、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、増益となる見込みです。
 以上のことから通期業績につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、前回予想を上回る見込みです。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年4月28日発表)	—	—	—	65.00	65.00
今回修正予想	—	—	—	180.00	180.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2022年3月期)	—	—	—	100.00	100.00

修正の理由

期末配当につきましては、上記の通り通期業績予想を上方修正することに伴い、1株当たり180円00銭に修正いたします。

※上記の予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績等は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上